

第3回 ぎのわん・未来ワークショップ 結果概要

《テーマ》

～将来の取り組みを提案しよう～

日時：平成28年7月27日（水）
19時00分～21時00分
場所：宜野湾市役所
別館3階 第1会議室
出席者数：16名

1 開会・あいさつ

開会にあたり、佐喜眞市長より、ビデオメッセージによるあいさつをいただきました。



2 ワークショップの進め方の説明

配布資料に基づき、ワークショップの全体の流れと第2回目の結果及び第3回目の進め方を説明しました。

3 グループワーク（テーマ別ワールドカフェ）

5つのテーマ（子育て・健康福祉、教育・文化、産業・経済活性化、防災・安全安心、環境・都市形成）ごとにグループワークを行いました。

【ラウンド①】〈30分〉

第1回会議で示された10年後の宜野湾市を実現するための取り組みを提案①

第1回会議で示された宜野湾市を実現するため、第2回会議で抽出した2つの重要課題に対するそれぞれの分野に沿った取り組みをグループごとに話し合い、付箋紙に記入・共有する作業を行いました。

【ラウンド②】〈15分〉

第1回会議で示された10年後の宜野湾市を実現するための重要な取り組みを提案②

ホストを残し、別のテーブルへ移動し、それぞれの分野に沿った取り組みを、付箋紙に記入・共有する作業を行いました。

【ラウンド③】〈15分〉

第1回会議で示された10年後の宜野湾市を実現するための重要な取り組みを提案③

ホストを残し、別のテーブルへ移動し、それぞれの分野に沿った取り組みを、付箋紙に記入・共有する作業を行いました。

【ラウンド④】〈20分〉 重要な取り組みを抽出

元のテーブルに戻って、重点的だと思う取り組みに1人3つまでシールを貼り、最終的に分野ごとの重要な取り組みを抽出しました。



4 全体確認

グループワークの結果により、各分野（各グループ）で抽出された 10 年後の宜野湾市を実現するための重要な取組みを発表しました。

『子育て・健康福祉』グループの取組み

10年後の宜野湾市 (第1回より関連キーワード)	<ul style="list-style-type: none"> ○「交通改善」のために・・・ ○「コミュニケーションができる宜野湾市」のために・・・ ○「参加・参画しやすい宜野湾市」のために・・・ ○「地域コミュニティ活性化」のために・・・ ○「国際交流拠点」のために・・・ ○「文化の町」のために・・・ ○「ジョニー宜野湾10万人」のために・・・ ○「まちでにっこりあいさつができる町」のために・・・ ○「安全・安心な宜野湾市」のために・・・ 			重点的な取組み(1つずつ)
①地域の支え合いや自治会活動への参加者を増やすための取組みを提案	1ラウンド	2ラウンド	3ラウンド	4ラウンド
<p>②多様化する子育ての個別問題に対する対応策を提案</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 分かりやすい自治会活動。 例：区民BBQ。 ➢ 市役所がもっているデータ（貧困数、児童など）を自治体に提供する。 ➢ とっかかりとして小学校に通う子どもをきっかけにする。 ➢ 自治会加入にかかわらず、参加者を呼びかける。 ➢ 地域活動の充実。 老人会 婦人会 子ども会 青年会の活動の育成。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 他の自治会を見学する。 ➢ 地域の人を作る、地域の居場所づくり。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 自治会が何をやっているのか、自治会が必要な意義を周知する（加入率は増える?）。 ➢ 自治会の意義についての再確認（機能についての再確認）。 ➢ 自治会の再定義（活動の見直し 惰性になっている活動をやめる。時事問題に取り組んだ活動）。 ➢ 自治会がよくわからない。 ➢ 地域に埋もれている人材を自治会に招いて、講座をしてもらう。 ➢ 多様な参加メニューを開発する。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 若者に自治会の意義・目的を伝える。 ➢ 老人会、青年会、子ども会などの組織をしっかりと作り直し、質の高い活動をする。 ➢ 自治会対抗の運動会や行事を行うなど、自治会活動を活性化させる。子どもを中心とした行事により、親も参加することができる。
	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 子育て中は残業を減らすように企業にお願いする。 ➢ 母子・父子家族の社会保障。 ➢ 地域・行政・学校連携活動の確立。 ➢ 老人会が手作り食事を子ども達にふるまう会。 ➢ 孫育て教室の開催。 ➢ 家庭の育成。 ➢ 親が子育ての知恵がない。 ➢ 自治会等で放課後のめんどうをみる。 ➢ カウンセラー、教育者を地域に配置して保護者が気軽に利用できる。 ➢ 生まれたときから義務教育を終えるまでの記録を1つにまとめて、続く同一の情報を共有できる仕組み。シームレス化。 ➢ 子どもの遊び場作り。 ➢ 公園など各自治会に建設して子ども育成広場を確立する。 ➢ 子育てしている人が定期的に集まれる場を地域に置く。 ➢ 放課後に子ども達をみてくれる場所・人の確保（自治会・保育士・教育関係の方） 			<ul style="list-style-type: none"> ➢ 「子育ては親育て」というスローガンを掲げる。 ➢ 子どもにかかるお金の負担を減らす免除（教育関係の費用）。 ➢ 企業（役所）内保育所の整備。 ➢ 「NPO」連絡会議を設け支援メニューを体系化（重複しないように）して、効率的に実施。 ➢ 子育て世代が気軽に情報収集しやすい場づくり（大型スーパー等を活用してはどうか）。

『教育・文化』グループの取組み

10年後の宜野湾市 (第1回より関連キーワード)	<ul style="list-style-type: none"> ○「交通改善」のために・・・ ○「コミュニケーションができる宜野湾市」のために・・・ ○「参加・参画しやすい宜野湾市」のために・・・ ○「地域コミュニティ活性化」のために・・・ ○「国際交流拠点」のために・・・ ○「文化の町」のために・・・ ○「ジョニー宜野湾10万人」のために・・・ ○「まちでにっこりあいさつができる町」のために・・・ ○「安全・安心な宜野湾市」のために・・・ 			重点的な取組み(1つずつ)
①教育環境と安全対策に向け、必要な取組みを提案	1ラウンド	2ラウンド	3ラウンド	4ラウンド
②芸術・文化活動のための資源の活用方策とコーディネーターの役割を提案	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 様々な問題を抱えた子ども達に対する支援と、地域・民間機関との連携強化。 ➢ フリーハンドで使える全予算の中で、教育基盤整備に使うための枠を設け、3年スパンで見直す制度をつくる。 ➢ 通学路の安全の確保(ガードレール、横断歩道、保護者の協力)。 ➢ 県内の「市」間を横断的に結ぶ「連携会議」を発足させ、課題を共有するしくみをつくる。 ➢ 「宜野湾市教育環境アップ週間(or月間)」の設定。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 地域単位で児童公園を建設し、公園中心に地域と子供が育成されるシステム。 ➢ リサイクル、ゴミ教育。 ➢ 自治会に教育コーディネーターを配置し、子ども達の健全教育を図る。 ➢ 放課後の子ども達の面倒を見る体制確立 ➢ 地域老人会などの見守り隊はどうか。 ➢ 健常者と障害者の交流を小さい頃から行う(合同でできる授業は積極的に合同で行う)。 ➢ 学校に地域担当のコーディネーターを配置して地域と学校の教育、安全連携。 ➢ 昔の寺子屋の検討。 ➢ 通学路の整備(安全、安心、交通標識の設置など)。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 学校周辺道路の交通ルール改正(通学時間のみ)。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 教育環境整備の目標設定・評価ができるように市教育委員会内にプロジェクトチームを設置するとともに、地域で教育支援できるコーディネーターを配置(学習支援)。学校時間外のサポートを強化する。
	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 地域の歴史教育。 ➢ 参加者の掘り起こしと、資源ごとのストーリー、及びイベントづくりならびにPRを、リーダーシップをもって行うこと。 ➢ 参加者のモチベーションを高めること。 ➢ 外部から積極的参加者を連れてきて活性化すること。 ➢ 宜野湾市の歴史や文化を伝える劇団をつくる。 ➢ 小中学校の芸術・文化体験をふやす。授業の一環として実際に市内の施設に足を運んで体験学習を行う。 ➢ 大人→子どもへ文化を伝える場所作り。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 無形文化財の継承 学校と地域。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 参加しやすいサークル・教室の設置(社会人向け)。 ➢ 発表の場を設ける(～大会、文化祭など)。 ➢ 那覇のまちまわり～のようにワークショップや研修などを通じて人材育成→観光ビジネスの人材に。 ➢ コーディネーターの育成(大学生を活用)。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 資源(博物館やホール等)の利用基準を利用者視点で緩和するプログラムの設定による自由度の高い利用。 ➢ プログラムの開発と地域にかかわる体験学習の実施等をリーダーシップのもと行う。

『産業・経済活性化』グループの取組み

10年後の宜野湾市 (第1回より関連キーワード)	<ul style="list-style-type: none"> ○「交通改善」のために・・・ ○「コミュニケーションができる宜野湾市」のために・・・ ○「参加・参画しやすい宜野湾市」のために・・・ ○「地域コミュニティ活性化」のために・・・ ○「国際交流拠点」のために・・・ ○「文化の町」のために・・・ ○「ジョニー宜野湾10万人」のために・・・ ○「まちでにっこりあいさつができる町」のために・・・ ○「安全・安心な宜野湾市」のために・・・ 			重点的な取組み(1つずつ)
①コンベンション・リゾートの活用方策と必要な整備を提案	1ラウンド	2ラウンド	3ラウンド	4ラウンド
②人材を育成するための方法を提案	<ul style="list-style-type: none"> ➢ リゾート内は専用バスのみ(駐車スペース問題)→交通を車から(未来のかわいい)バスへ。 ➢ マリンスポーツ・漁業・農業を活かした体験型観光の充実。 ➢ Wi-Fi環境の整備。 ➢ サンセットを活かしたリゾートウェディングのようなもの。 ➢ 様々な言語に対応した電子案内板の設置。 ➢ 多言語パンフレット(クーポンつき)。 ➢ 絶景ポイントを用いた電子スタンプラリーの実現。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 市独自の支援制度をつくる。 ➢ 食の人材(メニューの開発)。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 田イモ振興のために道の駅を建設し観光客を中心にPRしていく。 ➢ 観光マップ作り。電子版。 ➢ 大山田いも道の駅をつくる(畑の近く)。 ➢ 企業の人材育成は、産業教育機関の設置が必要。 ➢ 商工会などによる産業別講習会を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 滞在型のホテル誘致 民泊。 ➢ ICTを活用した観光客誘致。情報センターとの連携。 ➢ 海風、太陽光を利用したエネルギー源設備を建てる(未来的なデザインコンセプトエリアとして)。 ➢ 食事、レストランのリゾート強化(市民向け)。 ➢ 経済リゾート資源のPR・開拓。 ➢ 田イモ産業の法人化によるノウハウの伝授。 ➢ 田イモ、うなぎ養殖を行う。 ➢ IT管理による農業 ➢ 60代のIT能力強化 シニアへの教育。 ➢ 琉大・冲国など学校との連携強化。

『防災・安全安心』グループの取組み

10年後の宜野湾市 (第1回より関連キーワード)	<ul style="list-style-type: none"> ○「交通改善」のために・・・ ○「コミュニケーションができる宜野湾市」のために・・・ ○「参加・参画しやすい宜野湾市」のために・・・ ○「地域コミュニティ活性化」のために・・・ ○「国際交流拠点」のために・・・ ○「文化の町」のために・・・ ○「ジョニー宜野湾10万人」のために・・・ ○「まちでにっこりあいさつができる町」のために・・・ ○「安全・安心な宜野湾市」のために・・・ 			重点的な取組み(1つずつ)
①防災・減災に向けた取組みと、自主防災組織が連携すべきことを提案	1ラウンド	2ラウンド	3ラウンド	4ラウンド
②安全・安心して暮らせる地域づくりに向けた、市民や地域の取組みを提案	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 防災士1000名育成する。自治会長、青年会長、PTA会長などの地域のリーダーが防災士取得に向けての支援。 ➢ 子どもたちへの啓蒙活動。 ➢ 避難ルートを分かりやすくつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ どこに連絡をするか決める(各地域の連絡中心)。 ➢ 緊急時の連絡網作り(障害者・高齢者・自力での避難がむずかしい人)。 ➢ 子ども達が楽しく防災意識を持てる啓蒙活動。親も巻き込む。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ スクールガード。地域見守り。 ➢ イベントを利用した取組み。 ➢ 夜のまち歩き。 ➢ 地域まち歩き。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 防災士1000人を育成するために、資格取得に向けた支援を実施する(防災士による避難マップ、地域の啓蒙活動への期待)。 ➢ 夜道を安心して歩くことのできる取組みとして、外灯の設置や住宅にある外灯の活用(電気代、電球の補助) ➢ 地域安全マップの作成(たいようの家の場所の把握)

『環境・都市形成』グループの取組み

10年後の宜野湾市 (第1回より関連キーワード)	<ul style="list-style-type: none"> ○「交通改善」のために・・・ ○「コミュニケーションができる宜野湾市」のために・・・ ○「参加・参画しやすい宜野湾市」のために・・・ ○「地域コミュニティ活性化」のために・・・ ○「国際交流拠点」のために・・・ ○「文化の町」のために・・・ ○「ジョニー宜野湾10万人」のために・・・ ○「まちでにっこりあいさつができる町」のために・・・ ○「安全・安心な宜野湾市」のために・・・ 			重点的な取組み(1つずつ)
①住環境の改善(緑化・騒音等)に向けた取組みを提案	1ラウンド	2ラウンド	3ラウンド	4ラウンド
②環境問題やごみ対策と環境思想の普及・啓発の取組みを提案	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 返還(基地)。 ➢ 多機能公園の整備。 ➢ 人間中心の歩道整備。 ➢ 施設管理状態の確認(耐震・老朽化など)。 ➢ 西普天間地区道路整備。 ➢ 渋滞緩和モノレール、ロープウェイ。 ➢ モノレール誘致。 ➢ 鉄軌道誘致。 ➢ 空家空地対策。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 自転車専用道路の整備。 ➢ 学校単位での送迎バスなどの整備利用。 ➢ 屋上緑化。 ➢ 街路樹の整備。 ➢ 企業ロゴが入ったプランター的なものを設置。 ➢ 雑草を処理する国道、公園など。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 公園(特に夜間の)防犯。 ➢ 真栄原から大謝名への道路拡張。 ➢ 朝、夕のラッシュ時だけでも普天間基地内横断可能に。 ➢ 防災、貯水、ターミナル、墓地、避難所。 ➢ 河川の整備(公園等緑化)。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 交通改善のために、特に混雑する真栄原から大謝名への道路拡張および、朝夕のラッシュ時だけでも普天間基地内を横断可能にする。 ➢ 住環境の改善・緑化推進のため防災・貯水・ターミナル・墓地・避難所等を含む多機能公園と川の整備。
	<ul style="list-style-type: none"> ➢ ゴミ処理場、下水処理場、浄水場などへ見学(大人が参加する)。 ➢ ゴミ分別品目を増やす。 ➢ 不法投棄防止のためカメラ設置。 ➢ 不法投棄防止パトロール強化。 ➢ 世代間の住環境(サイクル)。 ➢ ペット生物類対策。 ➢ 悪い人がいなければ、不法投棄はなくなる。(一人ひとりの意識の問題)。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 住んでいる地域に愛着を持ってもらう。 ➢ ゴミ屋敷をなくすためのコミュニティ連携。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 高齢者のゴミ出し支援。 ➢ 小学校での環境教育。 ➢ サング等の植え付け体験。 ➢ 西普天間地区の葬祭場をつくる。 ➢ 職員研修に環境教育を取り入れる(ゴミ処理場見学)。 ➢ シンガポール並みの条例強化(罰金制) 韓国なども参考に。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 西普天間地区へ葬祭場をつくる。 ➢ シンガポール並みの罰金制など条例強化によってゴミの不法投棄等を防止する。